

衆議院外務委員会ニュース

平成 30.5.11 第 196 回国会第 10 号

5 月 11 日（金）、第 10 回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・河野外務大臣、山本防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

末松義規君（立憲）

- ・米軍に我が国の法律が適用されないことが、日米地位協定に基づくものではなく国際法の原則によるものであるとする外務省ウェブサイトの記載は不適切なのではないか。
- ・北朝鮮問題に関して日・米・中・韓で温度差があるとの見方について、河野外務大臣の認識を伺いたい。
- ・我が国の排他的経済水域（EEZ）内で中国が我が国の了承を得ずに行った違法な調査活動について、政府はどのような対応をとったのか。

関健一郎君（国民）

- ・北朝鮮の核廃棄に向けたプロセスにおける我が国の役割とは何か。
- ・「たびレジ」への登録を促進するための方策についてご説明いただきたい。
- ・外務省は、「SDGs アクションプラン2018」の認知度向上に向けて取り組むべきではないか。

岡田克也君（無会）

- ・第 7 回日中韓サミット共同宣言に、北朝鮮の核・ミサイルの「完全な、検証可能な、かつ、不可逆的な廃棄（CVID）」との文言が盛り込まれなかったのはなぜか。
- ・米国は、CVIDが達成されるまで北朝鮮に対する経済

制裁は一切解除しないとの立場をとっているのか。

- ・米国のイラン核合意離脱により、どのような問題が発生すると河野外務大臣は認識しているのか。

穀田恵二君（共産）

- ・南北首脳会談で共同発表された板門店宣言に対する河野外務大臣の所見を伺いたい。
- ・日報問題に関する防衛省の調査チームによる調査結果公表時期はいつになるのか。
- ・「日米の『動的防衛協力』について」と題する防衛省資料に記載されている沖縄本島に陸上自衛隊部隊を平素より配備するという計画についてどのような検討が行われているのか。

丸山穂高君（維新）

- ・日中韓首脳会談及び日中首脳会談の成果について伺いたい。
- ・フィリピンで慰安婦像が撤去されたことについての河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・日露経済協力案件のハバロフスク空港新ターミナル建設の協力が頓挫したとの報道があるが河野外務大臣の見解を伺いたい。

2 環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定の締結について承認を求めるの件（条約第 11 号）

- ・河野外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・河野外務大臣、野中農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

亀井亜紀子君（立憲）

- ・米国が TPP 協定から離脱したにもかかわらず、なぜ我が国は 11 か国による同協定の内容の実現を推進したのか。
- ・日米並行交渉、日米経済対話、自由で公正かつ相互的な

貿易取引のための協議は、それぞれどのような相違点があり、どのように位置付けられるのか。

- ・トランプ政権が北米自由貿易協定（NAFTA）の再交渉を求めている背景について、我が国政府としてどのような見解を有しているのか。

神谷裕君（立憲）

- ・本協定に加入するための交渉はどのようなものであり、個別の事案において、各締約国の了承を得られれば一部留保が認められる余地があるのかについて伺いたい。
- ・トランプ大統領は本協定が「より良い内容」となれば参加する旨発言しているが、具体的な要求があった場合、我が国として協議に応じるのか。
- ・T P Pなどの広域経済連携協定は非加盟国に対して排他的であるという点で本来の自由貿易と異なるものであると考えるが、河野外務大臣の見解を伺いたい。

吉良州司君（国民）

- ・T P Pの意義について、政府の公式見解以外にも、地政学的な意味合いや我が国の産業が被る経済環境の変化に対応するための仕組みとなる可能性といった側面などもあるのではないか。
- ・T P Pについて、我が国が主導して中国やインドなども含むインド太平洋地域全体への拡大を図っていくべきではないか。
- ・我が国が米国に対しT P P復帰を説得するにあたり、米国経済の現状を掘り下げて分析し、正しく理解した上で臨む必要があるのではないか。